



九中だより

令和6年1月15日(月)

第9号

教育目標 やさしく・かしこく・たくましく

立川市立立川第九中学校 校長 敦澤 雅規

TEL042-535-1415 Fax042-534-6958

3学期が始まりました

校長 敦澤 雅規

令和6年が幕を開けました。12月の終業式では、「主体的に過ごす冬休み」「自分の成長にとっての大きなチャンスの冬休み」にしてほしいと生徒に話をしました。正月は親戚と会ったりする機会もあり、今まで以上に家族団らんの時間のもてたのではないのでしょうか。そんな中で令和6年の抱負を家庭で語り合えていたら嬉しいです。3学期は1年生がスキー教室、2年生は校外学習と、大きな行事も待っています。行事は自他を大切に、互いに支え高め合う「共に学ぶ集団」としての支持的風土をつくるチャンスです。3年生は自らの手で自らの進路を切り拓く経験を積むこととなります。いずれも、大きく成長できる3学期だと考えています。生徒のみなさんの頑張りに期待しています。

【3学期始業式より】

14日間の休みを終えて、今こうして皆さんと3学期の始業式を迎えられたことを心から感謝したいと思います。一方で、元旦から不幸なニュースが続きました。特に石川県で起こった能登半島地震では、地震のほか、津波や火災などによる災害で、200人に迫る亡くなられた方や多くの安否不明の方が報告されています。ご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げたいと思います。



さて、1月2日から3日にかけて、第100回箱根駅伝が行われました。テレビで見た人もいると思います。青山学院大学が「負けてたまるか！大作戦」を掲げて、見事大会新記録のタイムで、総合優勝を飾りました。昨年は駒澤大学が優勝、このところの大会もすべて駒澤大学が圧勝している状況で、1か月前にはチーム内でインフルエンザの集団感染もあったそうです。そんな中で、どうして優勝することができたのだと思いますか？

青山学院大学の4年生キャプテン志貴くんは、実力者にも関わらず結果が出ず、箱根駅伝の登録メンバーには入れませんでした。彼はみんなの前で「走ることで引っ張れなくて申し訳ない」と涙ぐんで話したそうです。苦しい時でもつらい表情は絶対に見せなかったキャプテンの言葉が、チームに団結力をもたらしたのです。

3年生の皆さんにとっては、いよいよ進路決定の時期ですね。義務教育最後の3ヶ月間です。不安で気持ちが揺れ動くこともあるかもしれませんが、皆さんは決して一人ではありません。九中には共に学んできた仲間や応援してくれる先生たちがいます。これまでの経験をふまえ、「認め合い励まし合いながら高め合って成長してきた集団」として、「負けてたまるか！」の反骨心を持って、仲間と共に自らの進路を切り拓いてほしいと思います。応援しています。

1年生の皆さんは、引き続き、互いの個性を認め合い、支え合って協力する活動を通して、集団生活を送る上での正しい判断力を身に付けて、4月に入学してくる新入生から頼りにされるような先輩になってほしいと思います。

2年生の皆さんは、4月からいよいよ最上級生です。九中生としての自覚と責任をもって、「何事にも主体的に取り組み、自他を大切に学年」として、3年生が安心して卒業できる、任せられる九中を創ってほしいと思います。

学校にとって、この1月から3月までの3か月は、とても大切な時期です。1年間のまとめの時期であり、次のステップを踏み出す助走の時期です。みんなで心を一つにして充実した3学期にいきましょう。

